

金蘭会Tokyo

金蘭会東京支部会報

May. 2016 No.23

編集・発行／金蘭会東京支部（大阪府立大手前高等学校同窓会）
事務局／設楽・阪本法律事務所内
〒104-0061 東京都中央区銀座 6-7-2 みつわビル 3F
<http://kinran-tokyo.in.coocan.jp/>



総会会場のメトロポリタンエンドモント



抱負を語る大学生の会員



講演する廣田利幸さん

当番幹事を終えて
直江利克（昭和59年卒）
前々回の支部総会で、昭和59年卒の出席者はゼロでした。そして代表幹事を受ける者もなく、共同代表という形で当番幹事業務がなんと始まりました。まずは、手伝ってくれるメンバー探しですが、そもそも東京に誰がいるかわからない。しかし、便利なものがありました。facebook。
四谷で鍋をつつきながらの顔合わせで、高校時代の記憶がない者同士も意気投合し、前回の幹事をされた先輩方からアドバイスも頂きキックオフ。会場のホテル探し、イベント企画、会費のコンビニ収納での便利化などの計画的な準備は男子のお仕事でしたが、案内状作成から、電話やメールでの照会



当番幹事の皆さん

企業の取り組み
スポーツを通じた恩返し
廣田 利幸（昭和59年卒）
初めて参加させていただいた東京支部総会。しかも、大先輩の前での講演。さすがに、高校時代、怖いものなしで、放蕩な生活を送っていた私も少々緊張してしまいました。
とはいえ、そこはラグビーで培った突破力で、2020東京五輪に向けた旬のテーマでもある、企業スポーツの取り組みを紹介させていただきました。
いま、トヨタが社をあげて取り組んでおります「スポーツへの恩返し」「スポーツ選手への恩返し」「スポーツを通じた地域への恩返し」につきまして、各方面でご活躍されている同窓の方々に少しでもご理解いただけたかと、勝手ながら満足しております。
また、こうした機会は、久しく会っていない先輩・同期・後輩と、楽しく杯を傾ける場であるとともに、私にとって、高校時代同様、悪戯が働ける絶好の場（笑）です。
今後とも役員の皆様のご指導の下、本会を盛り上げていきたいと思っております。ありがとうございました。

2015年7月5日（日）、飯田橋のホテルメトロポリタンエンドモントで第91回金蘭会東京支部総会が開催されました。幹事団を務めた昭和59年卒有志の皆さんのアイデアで、各テーブルには「天満」「森ノ宮」「鶴橋」などの大阪環状線の駅名が付けられました。
イベントは、トヨタ自動車勤務の廣田利幸さん（昭和59年卒）による「企業のスポーツへの取り組み」についての講演があり、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みへの熱意が伝わってきました。
合理化・省力化のために、この総会より出席の連絡や参加費の支払い方法などが変更され、参加費も諸般の事情で増額となりました。そのため諸々の手続きが混乱するのではと心配しておりましたが、幹事団の団結力と努力で乗り切り、

なつかしのあの駅名がテーブルに

Information

●仲間募集…「二子玉会（にこたまかい）」
11 回目は二子玉川の「梅蘭」でのランチ会で、学年を越えた 20 名が参加しました。90 歳を迎える方からの「毎朝 5 時半に起きて家の内外を掃除し、毎週美容院（病院ではなく）に行っています。」との言葉に思わず感嘆の声が漏れました。今年も 10 月の土日に開催予定です。金蘭会に関係する方なら学年・住所を問わずどなたでも参加でき、お一人でもすぐ馴染めます。

連絡先：竹村 泉（昭和 48 年卒） TEL. 080-5448-7848
E mail : 426izumi-t@e08.itscom.net

●支部会費
年会費として 1,000 円をお願いしております。払込用紙が 2 通同封されていた方は同封の総会案内をご覧ください、いずれか一方の払込用紙にて、コンビニ等からお支払いください。なお、今年度から当分の間終身会費払込みを一時停止することについて、昨年の支部総会で承認されました。

●3 行広告、原稿募集
出版本、個展、講演会、講習会、教室等の有料広告のほか、ご意見、エッセイ、趣味やペットコーナー等原稿も募集しています。

●金蘭会東京支部ホームページ
<http://kinran-tokyo.in.coocan.jp/>
支部の最新情報をご覧になれます。東京支部へのお問い合わせ、メールアドレスの登録や変更もホームページからお願いします。

収入の部	金額（円）	支出の部	金額（円）
前年度繰越	6,317,682	総会補助費	6,498
支部会費	257,000	支部運営費	237,591
（内訳）		（内訳）	
終身会費分	180,000	会議費	33,851
年会費分	77,000	事務所使用料（2 年分）	120,000
		会報印刷代	51,272
雑収入	0	通信費	0
貯金利息	324	HP 費用	5,670
		雑費	8,298
		交通費	18,500
		次期繰越金	6,330,917
合計	6,575,006	合計	6,575,006

編集後記
会員の皆様のお原稿を読んで刺激を受けます。この紙面のデザイン・制作も会員の方（昭和 46 年卒）。会報への思いが皆様に伝わればいいなと思います。ご協力もよろしく願います。

手ぬぐいの新しい使い方

田中 啓介（昭和 51 年卒）
縁があつて一昨年から大阪発祥の伝統技法「注染」の手ぬぐいを東京で発信し販売させて頂く仕事をしております。
機械で作られるものと違い、1 枚 1 枚職人の技と手間が活きる手ぬぐいを見てみると「やはり日本人ってすごいな」と思います。今では手を拭うという役割はほとんどタオルにとって代わられていますが、手ぬぐい

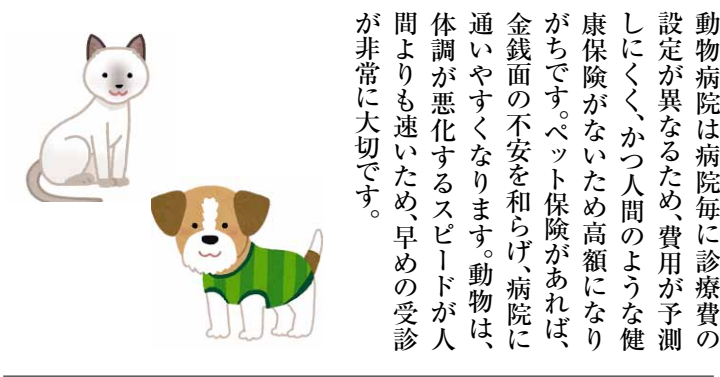
会員だより

は他にもいろいろな使い方をし方があります。
特に注染では、糸自体が染められているので非常に通気性が良く乾きが早い。汗も良く吸うので浴衣や子供の着に最適。また、晒木綿の特性で洗えば洗うほど柔らかくなり、色も程良く抜けていきます。
形を選ばないし裏表なく両面が染まっているので、ラッピング用にいかがでしょうか？お弁当箱・ペットボトル・ティッシュボックス・単行本など。額に入れたり箱に巻いたりして絵画やフアブリックボードとして。頭や首や腰に巻いてファッショントとして。食卓でランチョンマットとして。カフェカーテン代わ

ペット保険

永井 真樹子（平成 4 年卒）
みなさん、「ペット保険」をご存知でしょうか。犬や猫などのペットが動物病院にかかった際の診療費を補償する保険で、保険会社によって、かかった診療費の一定割合（50% など）を補償するものと、定額（5 千円 など）を補償するものがあります。
最近はペットを家族として扱い、「何かあればすぐ病院に」という飼い主は少なくありません。ただ、人間の病院と違って

動物病院は病院毎に診療費の設定が異なるため、費用が予測しにくく、かつ人間のような健康保険がないため高額になりがちです。ペット保険があれば、金銭面の不安を和らげ、病院に通いやすくなります。動物は、体調が悪化するスピードが人間よりも速いため、早めの受診が非常に大切です。



我が家のペット

うちのモカは、メスの子猫。機嫌のいい時には僕が顔を近づけると鼻を付けてくれる。冷たくて気持ちいい。でも普通はアイツと顔を背ける。人間だと JK の年頃。親父相手に妥当な線か。

石原 義久（昭和 56 年卒）

モカ

レオン

我が家のアイドル～レオンちゃん
茶色と白色の毛並みはサラサラ、つぶらな瞳でイケメンのパピヨンです。みんなが帰宅すると、大喜びで走り回ったり、顔をペロペロしたり。甘えんぼうで、みんなのお布団で寝るのが大好き。すっかり家族の一員です。

馬場 康行（昭和 56 年卒）

国際弁護士の或る思い出



弁護士

木村 明子 さん
(旧姓：新宮)
(昭和 41 年卒)

発銀行と同様、多国間条約に基づいて設立された国際機関で、アフリカ諸国のみならず世界中の国々がこの条約に加盟しており、この機関が世界の主要資本市場で調達した資金はアフリカ諸国の資金需要を満たすために使用されます。このような債券発行に關して弁護士が携わる仕事は、関係契約の作成や交渉、また投資家向けの開示書類の作成です。

私は、昭和48年に弁護士登録をして以来、企業法務、主として国際的な資金調達に關する弁護士業務に従事してきました。その間多くの案件を取り扱いましたが、中でも印象に残っているのは、昭和59年のアフリカ開発銀行による日本国内で初めての債券発行です。アフリカ開発銀行は、世界銀行やアジア開

罪、交通事故などの確率が日本に較べて桁違いに高い国が大半であるが、幸いにして命の危険に直面したことはない。

混沌の中の一糸の光



独立行政法人国際協力機構 (JICA)
国際協力専門員

福若 雅一 さん
(昭和 48 年卒)

政府開発援助(ODA)にJICA国際協力専門員として従事し15年を超えた。この間訪問した国は約80カ国、駐在した国はメキシコ、セネガル、インドネシア、カンボジアそして現在はケニアに勤務している。のどかな途上国ばかりではない。むしろ、テロ、一般犯

罪、交通事故などの確率が日本に較べて桁違いに高い国が大半であるが、幸いにして命の危険に直面したことはない。

とで、会社を辞しての転職となる。猶予期間は1年間。興味はあるが、家庭や仕事のことを考えると四十代半ばでの転職は無理と頭の中の振り子の振幅は大きく、収束しない日々が続く。

期限も残り少なくなったある日、意を決して大学の恩師を訪ねた。恩師は話を聞いて最後に一言、「混沌とした暗闇の中で進むべき方向を見失った時、心静かに瞑想し、一糸の光が見えたと思ったら、信ずるままに進めばいい」。一步を踏み出す言葉になった。

インフラ施設の建設現場を訪問して現地の方々の生活に接するたびに抱く「日本の援助が彼らの生活の向上に幾何かでも貢献できれば」との気持ちが活動の燃料になっていくが、脆弱な環境の中で貧しく苦しい生活を営んでいる人たちはまだまだ多く、単身赴任を支えてくれている家族に感謝しつつ、燃費の悪くなってきた頭と体をこまかしながら一糸の光を信じて混沌の中を歩んでいる。

私の健康 生き生きボランティア

調布市にある都立神代植物公園で定年後夫婦二人でボランティアをはじめて早10年になりました。月に10回程出て来園のお客様を1、2時間ご案内することが主な活動です。

吉永 孝一(昭和33年卒)



園内の植栽種は大変多く(4500種10万本)季節に応じて変化にとんだ花や緑のひとつひとつを近寄って見ながら、あるいは香りを嗅ぎながら楽しんで頂いております。

そんな中、私は10年ほど前から園内に有るものを中心に身近な木の実を探り集めてお客様に見て頂くことを専門にやっております。現在常設350種に自由に手を触れて頂きながら対面展示をしております。園内ガイドも木の実展示もお客様の反応は色々ですが、大半の方は

喜んで下さり我々夫婦はそれを楽しみに神代通いを続けております。支部の皆様も自然がいっぱいの神代にぜひ御来園くださいませ。

幻の「金蘭」

奥野 眞弘(昭和38年卒)

中学の同級生から母の実家が私の住む地域にあったが今どうなっているのか見てみたいという要望があり母子ともどもご案内した。

その後、お礼にと聖蹟桜ヶ丘のご自宅に招かれたが、近くの公園で植物の鑑賞会をしているからと連れていただいた。植物に詳しいガイドの女性がここに「金蘭」がありますねと何気なく説明され目を見張った。30センチぐらいの高さに鮮やかな黄色い花がひっそりと華やかに咲いている。帰宅後、広辞苑を開くと金蘭会の名付け親の教養の深さに感銘を覚えた。



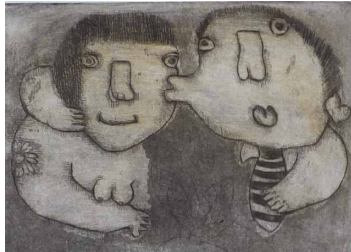
京都府立植物園や小石川植物園などで尋ねても、名前は聞いたことはありませんがという答で金蘭が絶

滅危惧種であることを再認識した次第。
※編集部注 神代植物園にキンランがあるそうです。

表現者のはしくれを ゆらゆらと

44歳の春、アメリカ南部の都市アトランタ、カタコト英語だけが頼りの生活が始まった。今思えば楽しい思い出が詰まっている。

愛犬を連れて帰国、名前は美人、彼女から見た中年夫婦の悪戯苦悶ぶりを絵本にして出版、絵描き人生がスタートした。ヨーロッパの裏町にあふれる落書き



「ラブユー・ラブミー」

油絵と格闘しながらスードデッサンを続ける。

毎年の個展は、壁・抽象・裸婦と展開、今は銅版画にはまり込んだ。対象をそのまま描写すると、うまいねと褒められてそこで止まる。自分だけの形や色味、そこに表現があると思っている。

今日は昨日より新しい表現者でありたいと、絵・ゴルフ・自治会長と盛り沢山なことに挑戦し続けている。

Do Sport!

サッカーやる人、この指と〜まれ

白石 吉行 (昭和 55 年卒)

大手前高校サッカー部 OB の方々、お元気にしてらっしゃいますか？嬉しいお知らせがあります。昨年 11 月の OB 総会で、桐蹴会関東支部を設立することが正式に決定されました。関東地区ではこれまで、駒沢と調布でサッカー部 OB 戦を開催しており、今年も行う予定です。

また、昨年 8 月に光が丘で練習会を行いました。写真は、その時のものです。二十代から七十代まで幅広い年齢層が参加し、一つのボールを追いかけて楽しんでいます。「高校卒業以来やってない」という方もご心配ありません。「サッカーはちょっとキツイな」という方は懇親会だけでも大歓迎です。人数を増やして盛り上げていきましょう。



連絡先：
支部幹事長／白石
080—2346—7822

ラグビーワールドカップ余話

夏山 真也 (ラグビー部 OB) (昭和 50 年卒)

15 年秋イングランドでのワールドカップが終わって半年、ラグビーファンとしていまだに幸せな余韻に浸っている。日本代表の南アフリカ (以下、南ア) からの勝利 (34 対 32) は日本のラグビーの歴史を変えてくれた。ハードな練習と初戦の南ア戦を目指した緻密な戦略がことごとくはまり、強豪国南アに日本が喰らいついていく戦いが終盤まで続いた。最後に勝利を呼び込んだのは、終了間際 3 点差で相手のペナルティーを得たときの判断だった。

南アに勝ち越しているのは世界で 2 国、ニュージーランド (53 勝 35 敗 3 分) と日本 (1 勝) だけである。19 年のワールドカップ



©Aki Nagao

の日本開催に向け、ラグビーへの関心は高まり、ラグビースクールの生徒数も倍増している。大手前ラグビー部の部員増にもつながることを念願している。

1971 年京都大学法学部卒業。1973 年弁護士登録。西村小松友常法律事務所(現アンダーソン・毛利・友常法律事務所)入所。1978 年ハーバード・ロースクール法学修士。1979 年ニューヨークのクラヴァース・スウェイン・ムーア法律事務所で研修。現在、富士電機(株)及び第一三共(株)社外監査役、野村アセットマネジメント(株)社外取締役、金融庁公認会計士・監査審査会委員、日本証券業協会「社債市場の活性化に関する懇談会」委員。

1979 年京都大学大学院修了 工学修士／川崎製鉄株式会社入社 (現 JFE スチール)／2000 年国際協力事業団(現 独立行政法人国際協力機構)国際協力専門員／メキシコ、セネガル、インドネシア、カンボジアの勤務を経て現在 JICA ケニア事務所勤務、技術士(建設部門)